

図書室より「新着図書」のお知らせ



☆『120の遺言』 樹木希林

とにかく、世の中を面白がること。老いだって、病気だって、自分の栄養になる。孤独、成熟、家族、仕事… 希林さんが教えてくれたあるがままの生き方。

☆『信長の原理』 垣根涼介

何故おれは裏切られ続けて死にゆくのか…信長の苦悩と行動原理を抉り出す、革命的歴史小説！

☆『怪物の木こい』 倉井眉介

2019年 第17回「このミステリーがすごい！」大賞受賞作!!
感情のないサイコパス弁護士 VS 斧で襲い脳を奪うシリアルキラー



☆『本と鍵の季節』 米澤穂信

皮肉屋で大人びた松倉詩門と頼まれごとの多い僕。これは図書委員の僕らの推理と友情の物語。

☆『あと少し、もう少し』 瀬尾まいこ

寄せ集めのメンバーと頼まない先生の元で、最後の駅伝に挑む中学生の夏を描くみずみずしい青春小説!!

☆『オリジン』 上・下 ダン・ブラウン

鍵を握るのは「進化論」と「人工知能」。誰も信用できない中で、宗教象徴学者ラングドンと美術館館長アングラは人工知能ウィンストンの助けを借りて謎に迫る！

『すぐ死ぬんだから』 内館牧子

78歳の忍ハナは、60代まではまったく身の回りをかまわなかった。だがある日、実年齢より上に見られて目が覚める。「人は中身よりもまず外見を磨かねば」と。ところが夫が倒れたことから思いがけない人生の変換に巻き込まれていく…